

大町・松川地区

樹林が広がる「大自然へのエントランス」

供用面積253ha



木子(もっこ)

E.自然体験ゾーン(Ⅲ期開園エリア)

北アルプスの山々から流れ出る清冽な溪流や、そこに育まれた森林の魅力と楽しみを満喫できるフィールド。水辺での楽しみ、森の中でのスポーツや遊び等様々な体験プログラムを提供し、環境を保全しながらより本物の自然に近づける人材育成に貢献するゾーン。

a 川遊び・乳川河原エリア

主に夏休み期間を中心に川遊びや釣り体験など様々な水辺の自然体験を提供するエリアです。



b 河畔探勝エリア

春のツツジ・新緑、秋の紅葉等を観賞しながら、本流とは異なる乳川の姿を探勝できるエリアです。



c スポーツと遊びの森エリア

期間限定(主に繁忙期やイベント期間の休日)でのイベント形式での敷地利用により、森のなかでの冒険や、林間スポーツを楽しむ機会を提供するエリアです。



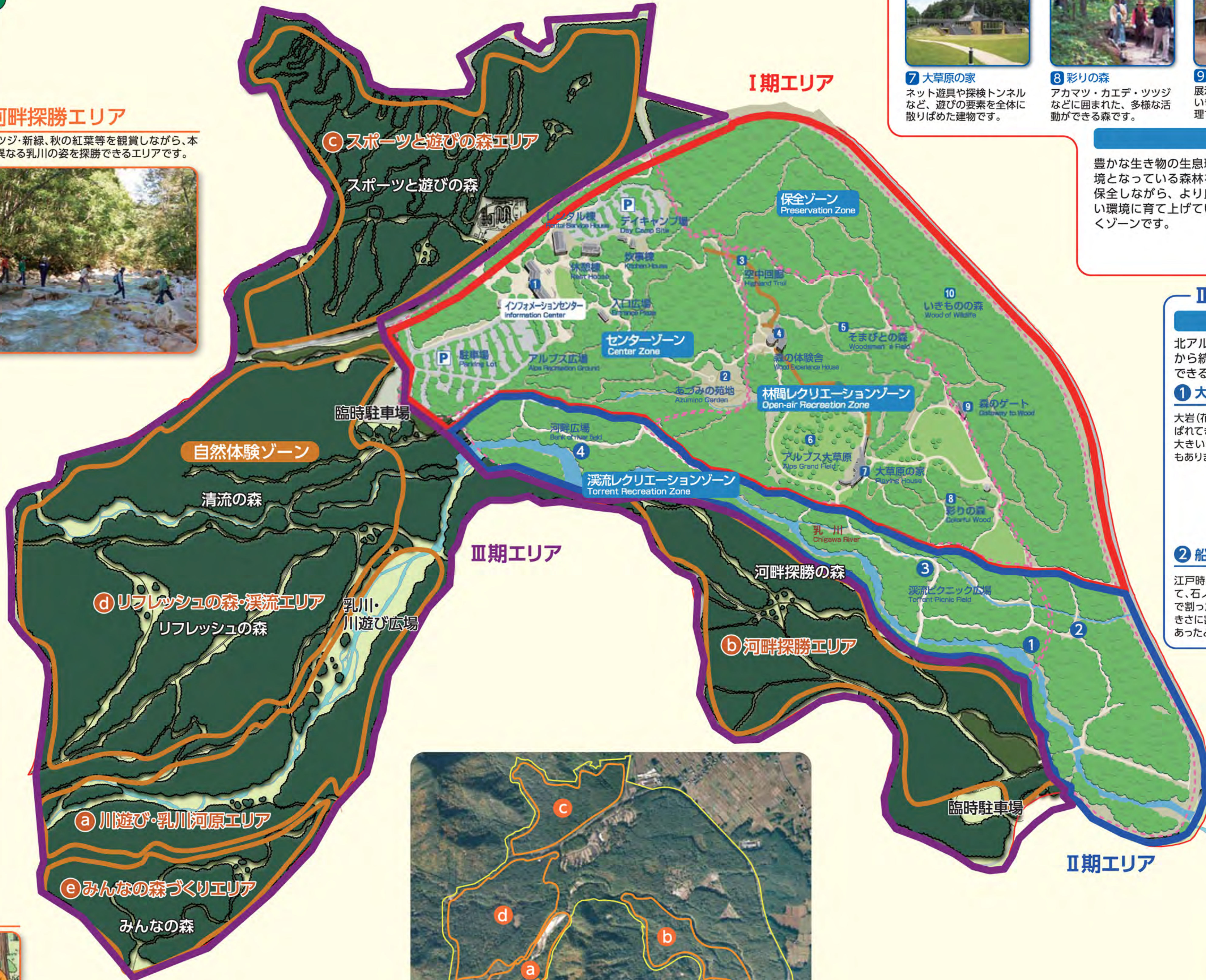
d リフレッシュの森・溪流エリア

様々な森と戸沢川の溪流のなかで、自然観察等森林をテーマにした体験学習のほか、ノルディックウォークなどアクティブな散策プログラムの実践を通じリフレッシュできる機会を提供するエリアです。



e みんなの森づくりエリア

松川村側からのアクセスルートも活用し、現時点で高密度なカラマツ林を大径の樹林、広葉樹の混生する森へ移行させていくエリアです。



Ⅲ期エリア空中写真

I 期開園エリア

A.センターゾーン

安曇野の豊かな自然環境に楽しみながらふれあうことができるゾーンです。



- 1 インフォメーションセンター 園内の情報提供、環境学習のきっかけとなる展示機能をもった施設です。
- 2 あづみの苑地 森の中にぽっかり開けた空間で、山地や高原の可憐な野草が楽しめます。

B.林間レクリエーションゾーン

北アルプス山麓の雄大な自然の中での様々な体験活動や、気軽に憩い、安らぐことができるゾーンです。



- 3 空中回廊 地形が織りなす不思議な空中自然観察路で、高い目線で自然とふれあえます。
- 4 森の体験舎 クラフト、土器づくり、森の料理などの体験拠点施設です。
- 5 そまびとの森 来園者による林間作業や里山体験ができる森です。
- 6 アルプス大草原 緑陰が散在する開放的な広場で、軽いスポーツなど四季を通じて楽しめます。
- 7 大草原の家 ネット遊具や探検トンネルなど、遊びの要素を全体に散りばめた建物です。
- 8 彩りの森 アカマツ・カエデ・ツツジなどに囲まれた、多様な活動ができる森です。
- 9 森のゲート 展示・体験スペースがある、いきもの森への入場を管理するゲートです。

D.保全ゾーン

豊かな生き物の生息環境となっている森林を保全しながら、より良い環境に育て上げていくゾーンです。



- 10 いきもの森

II 期開園エリア

C.溪流レクリエーションゾーン

北アルプスから流れ出る清冽な水を育む溪流や、江戸時代から続く農業用水路を活かし、水辺の魅力と楽しみを満喫できるゾーンです。

1 大岩(おおいわ)

大岩(花崗岩)は土石流によって運ばれてきたといわれています。大きい岩は、重さ推定約160トンもあります。



2 船形岩(ふながたいわ)

江戸時代から昭和30年頃にかけて、石ノミとハンマーを使って手で割った切出し方で、当時この大きさに割るのは大変難しいことであつたと考えられます。



3 横溝堰(よこみぞせき)

1650年頃(慶安年間)に造られた素堀りの水路。水には鉄分を含んでおり岩に付着して酸化して茶色になっています。



4 人が利用した木のすがた

この辺一帯は里山として利用されていて、薪炭として切られた木株からは新しく芽が出て(萌芽更新)再利用されてきました。

